事例No.	1157
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	埼玉県飯能市

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・地域運営組織 ・適切な資産管理

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

森林ボランティアの搬出活動による林地残材の活用

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

地方公共団体金融機構

埼玉県　飯能市（森林ボランティアの搬出活動による林地残材の活用）

- 飯能市では森林の持つ公益的機能の最適化を目指し、私有林の間伐を進めているが、基本的には切捨間伐のため、多量の林地残材が発生していた。
- そこで、間伐後の林地残材を有効活用するため、市内の森林でボランティアとして活動する者を募集し、林地残材の搬出活動を行った。
- 併せて、森林ボランティアとして地域住民、シルバー世代、学生など多くの人に参加してもらい、技術指導を通じて新たな担い手の育成につながるように取り組んだ。
- 森林環境譲与税については、監督指導を行う西川広域森林組合に対し、森林ボランティアに係る監督指導費として充当した。
- 令和元年度においては、以下の取組により、林地残材の有効活用と、新たな担い手の育成を図った。
  - 森林ボランティアを募集したところ、26名が登録。林地残材の搬出活動を11回実施した。
  - 搬出した木材は事業者に売却され、杭丸太や薪などに活用された。

□ 事業内容

森林ボランティアによる林地残材の搬出活動

- 間伐後の森林に生じる林地残材を有効活用するため、市内の森林でボランティアとして活動する者を募集。林地残材の搬出活動を実施した。

【事　業　費】569千円（全額譲与税）

【実　　績】・森林ボランティアとして26名が登録
・林地残材の搬出活動を11回実施
・搬出した材を杭丸太や薪などに活用



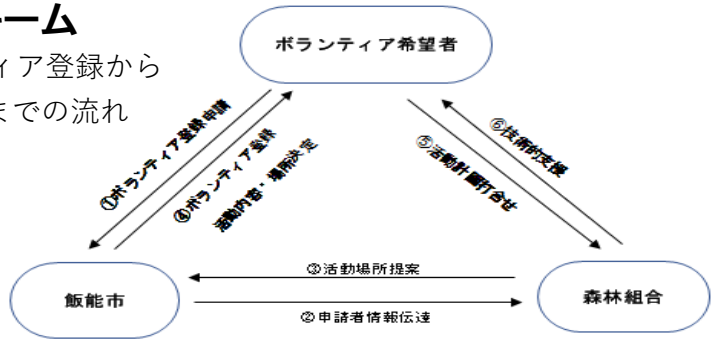
（搬出活動の様子）



（搬出活動の様子）

□ 事業スキーム

ボランティア登録から
活動開始までの流れ



□ 工夫・留意した点

- 森林ボランティア登録者は林業従事の経験がないことから、怪我を防止するため、チェーンソーによる立木の伐採や、木材の長さ調整のための切断等は実施させず、活動は木材の搬出作業のみとした。（木材の長さの調整等は指導員が実施）

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	22,479千円
②私有林人工林面積（※１）	10,743ha
③林野率（※２）	75.7%
④人口（※３）	80,715人
⑤林業就業者数（※４）	72人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」